

第6学年1組 外国語科学習指導案

令和5年10月10日(火) 6校時

男子13名 女子12名 計25名

指導者 HRT: 松尾 美由紀

1 単元名 Unit 5 We all live in the Earth.

2 単元の目標

- 地球に暮らす生き物について考えるために、それら生き物同士のつながりなどについて、基本的な表現で聞いたり伝え合ったりする技能を身につけている。また、例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。 【知識及び技能】
- 地球に暮らす生き物について考えるために、それら生き物同士のつながりなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、生き物どうしのつながりについて、短い話の概要を捉えたり、お互いの情報や考えなどを伝え合ったりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

○単元観

本単元は、地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物どうしのつながりなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることをできるようにする単元である。外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる価値ある単元である。

児童はこれまで、自分のプロフィールや宝物、おすすめの国について、紹介し合う学習を行ってきた。これまで学習してきたことを生かし、本単元の地球に暮らす生き物について、それらの生き物どうしのつながりについて考えることができる構成となっている。

○児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。(単位：人)

| | 思う | まあまあ思う | あまり思わない | 思わない |
|-------------------|----|--------|---------|------|
| ① 外国語の学習は好きですか。 | 14 | 9 | 2 | 0 |
| ② 外国語を話すことは得意ですか。 | 0 | 17 | 7 | 1 |
| ③ 外国語は大切だと思いますか。 | 20 | 4 | 1 | 0 |

本学級の児童は、外国語の学習に対して、「好き」と捉えている児童が多いといえる。しかし、得意かどうかという点については、自信をもって「得意」とはいえず、やや自信をもつことができていない様子がみられる。これまでの児童の様子を見ても、正しく発音したり、正確に伝えたりできることが「得意である」と捉えている児童が多い。また、正しく聞いたり伝えたりするための語彙量に対して、十分ではなく、その点について不安をもっている児童が多い。そのため、授業の中では、今持っている語彙をなんとかつなぎ合わせて、自分の思いを他者に伝えようと挑戦する前向きな気持

ちを育てていけるよう、指導している。

一方、「英語を学習する理由」については、「将来の役に立つから」と答える児童が多く、これからの自分の生活に必要であると感じている児童が多い。また、「外国の人と話したいから」という答えも多く、外国の人とコミュニケーションをとるために必要だと考えている児童も多い。

以上のことから、本単元の学習では、既習の英語表現や新出の英語表現に慣れ親しむことを十分に行いながら、自分の思いや考えを何とかして伝えようとすることに重きを置き、学習を進めていく。

○指導観

指導に当たっては、理科の「生き物の暮らしと環境」で、生物と水、空気及び食べ物との関わりを調べる活動を通して、生物と環境との関わりについての理解を図ってきた内容と関連させて指導に当たる。意欲的に地球に暮らす生き物について考え、学びの延長で取り扱う「食物連鎖」について、英語で表現したいという意欲を高めさせていきたい。生き物どうしは、「食べる」「食べられる」という関係でつながっていることを想起させ、生き物がどこに暮らしていて、何を食べているのか英語を使って表現できるようにさせる。

Englishtime や GIGAtime で調べた動物調べ（暮らすところと食べる物）を食物連鎖になるようにつなげて考えさせる。生き物の暮らすところや食べる物を尋ね合う活動を繰り返し行う機会を設定することで、生き物同士のつながりなどについて、基本的な表現で聞いたり伝え合ったりする技能を身につけさせる。

単元終末に、「理科で学習した食物連鎖を、英語を使って紹介し合おう。～安藤先生やクリスティーナ先生に伝えよう～」という活動を設定することで、相手意識や目的意識を持って取り組めると確信する。

【言語活動の設定】

地球に暮らす生き物について考えるために、理科で学習した食物連鎖をもとに生き物の暮らすところや食べ物を紹介し合う場を設定することで、目的意識や相手意識を持ちながら、自分の思いを生き生きと伝え合う児童の育成につながると考える。

4 取り扱う言語材料

【表現】Where do ~ live? / ~ live in the ... / What do ~ eat? / ~ eat ...

【語彙】海の生き物(Whale など)、動物(bear など)、虫(ant など)、からだ(head など)、自然(desert など)

5 単元計画 (全8時間) 本時3/8

| 時 | 目標と主な学習活動 | 知識・技能 | 思考・判断 表現 | 主体的に学習に 取り組む態度 |
|---|--|-------|-------------|-------------------|
| 1 | 生き物の暮らしについてのやり取りのおおよその内容を理解する。 ・Unit goalを知る。 ・生き物の食物連鎖について、英語で表現していくことを知る。 ・生き物や生き物の暮らす場所の英語表現を知る。 | ○ | | |
| 2 | 生き物が何を食べているのかについての英語表現を知る。 | ◎ | | |
| 3 | 地球の生き物たちについて伝え合う。 ・生き物の暮らす場所や食べる物についてのやり取りのおおよその内容を理解し、尋ねあう。 【本時】 | ○ | | |
| 4 | グループで生き物を選択し、暮らす場所や食物連鎖などについて調べる。 | ◎ | ○ | |
| 5 | 調べたことをもとに生き物の食物連鎖カードを作成する。 | | ○ | ○ |
| 6 | 生き物の食物連鎖カードを見せながら、生き物について友達に発表する。 | | ◎ | ◎ |
| 7 | 環境について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。 ・絶滅危惧種 ・語順について知る | ○ | | |
| 8 | 環境を守るためにできることやブラジルについて理解を深める。 | ◎ | | |

※単元のゴール・・・理科で学習した食物連鎖を、英語を使って紹介し合おう。

～安藤先生やクリスティーナ先生に伝えよう～

6 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------|--|--|--|
| 聞くこと | ○<知識> [Where do ~live in...What do~eat?~eat...おおよその関連語句など] について理解している。 ○<技能>《地球に暮らす生き物どうしのつながりなどについて、》聞き取る技能を身に付けている。 | ○『地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物どうしのつながりなどについて、』短い話の概要を捉えている。 | ○『地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物どうしのつながりなどについて、』短い話の概要を捉えようとしている。 ○ [外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、] 海外の国について、短い話の概要を捉えようとしている。 |
| 話すこと やり取り ／ 発表 | ◎<知識> [同上] について理解している。 ◎<技能>《同上》 [同上] を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合う (話す) 技能を身に付けている。 | ◎○『同上』簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。(話している。) | ○『同上』簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おう (話そう) としている。 ○ [同上] わたしたちができることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おうとしている。 |

※外国語科の「読むこと」「書くこと」に関しては、目標に向けて指導は行うが、児童の書いたワークシートを用いて形成的評価を行う。

7 本時の学習（3/8）

（1）目標

- 生き物の暮らす場所や食べる物についてのやり取りのおおよその内容を理解し、尋ね合うことができる。 【知識・技能】

（2）本時の視点

前時までの自分の表現レベルを確認させ、「表現のレベルをあげたい！」という児童の思いをもとに、課題を設定する。動物の暮らしているところや食べる物を尋ね合う場面を設定し、自分が調べた動物の暮らすところや食べる物を伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションを取ることができたかを検証する。

（3）展開

| 過程 | 児童の活動 | 教師のかかわり・指導上の留意点 | |
|-----------------|---|---|---|
| 時間 | 学習活動 | HRT | 備考 |
| Warm up ⑩ | 1 Greeting ○あいさつをする。 Let's start English! ○気分、曜日、日付、天気、時間を答える。 2 Unit goal を確認する。 | ○あいさつをし、気分、曜日、日付、天気、時間を尋ねる。 ○単元の終末で食物連鎖について紹介し合うことを確認する。 | |
| | Unit goal 理科で学習した食物連鎖を、英語を使って紹介し合おう。 ～安藤先生やクリスティーナ先生に伝えよう～ | | |
| Main act 1 ⑪ | 3 Today's goal ○本時の課題をつかむ。 ・前時までの自分の表現レベルを動画で確認する。 | ○前時までの自分の表現レベルを、動画をもとに確認させ、課題につなげる。 ○「声が小さい」「自信がなさそう」などの感想をもとに、課題を設定する。 | Unit goal カード Today's goal カード |
| | 生き物の暮らしているところや食べる物についての表現を知り、 <u>自信をもって</u> 尋ね合おう。 | | |
| | 4 Practice ○海の生き物、動物、虫、自然の表現を練習する。 5 Activity① ○教科書P. 44「Let's Listen②」に取り組む。 | ○自信をもって表現していくためにはどうすればよいのか考えさせる。 ○本時で学習する単語や表現の提示をする。 ○キーワードゲームを通して、生き物の英語表現に慣れ親しませる。 ○教科書P. 44「Let's Listen②」のやり取りを聞いて、話の概要を聞き取らせる。 ○1回で聞き取ることができている児童を確認す | Word Card |

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">Main act 2 ⑮</p> | <p>6 Activity② ○生き物がどこに暮らしているのか、また、何を食べているのかについて、尋ね合う。</p> | <p>る。 ○教科書P. 44「Let's Listen②」のやり取りを、デジタル教科書のやり取りを手本に確認し、生き物の暮らしているところや食べる物の表現を確認する。 ○やり取りを HLT と児童全員で練習し、確認させる。</p> | <p style="text-align: center;">評 価</p> <p style="text-align: center;">【知】</p> <p style="text-align: center;">Writing card 振り返り card</p> |
| <p>★POINT コミュニケーションポイントから児童が選ぶ。 A:Where do lions live? B:Lions live in the savanna. A:What do lions eat? B:Lions eat zebras.</p> | | <p>○ポイントを意識して活動している児童を賞賛する。 ○数名前に出て、やり取りをさせ、賞賛する。</p> | |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">Looking back ⑩</p> | <p>7 Lookingback ○本時の振り返りをする。 (Writing)</p> <p>8 Goodbye ○終わりのあいさつをする。 That's all. Let's finish. See you next week.</p> | <p>○本時の学習のまとめとして、動画を撮らせる ○簡単な単語や文の書き写しをさせる。 ○本時の学習を振り返り発表させる。 ○児童の頑張りを賞賛する。</p> <p>○終わりのあいさつをする。 ○次時の活動を伝える。</p> | |

(4) 評価

○生き物の暮らす場所や食べる物についてのやり取りのおおよその内容を理解し、尋ね合うことができたかを行動観察や振り返りカードで評価する。 【知識・技能】

(5) 板書計画

Unit Goal 理科で学習した食物連鎖を、英語を使って紹介し合おう。

～安藤先生やクリスティーナ先生に伝えよう～

Today's Goal : 生き物のくらしているところや食べる物についての表現を知り、自信をもって尋ね合おう。

Practice

- 海の生き物
- 動物
- 虫
- 自然

Activity①

- <生き物>聞く
- 暮らしているところ
- 食べる物

Activity②

- <生き物>話す
- 暮らしているところ
- 食べる物